

MEET THE ARTS! 舞台芸術の芽を育む活動

2011-2012 音楽ラインナップ発表!



CONDORS



コンドルズ埼玉公演2011新作をもって彩の国さいたま芸術劇場は改修のため6カ月間の休館。すなわち「ロングバケーション」。今や向かうところ敵なし、何でもありのコンドルズが改修前の大一番でどんなパフォーマンスを見せてくれるのか、乞うご期待！

INDEX

ESSAY 彩の国シェイクスピア・シリーズ第23弾
 『じゃじゃ馬馴らし』—— 中井美穂 03

REPORT MEET THE ARTS! 舞台芸術の芽を育む活動
 「日本昔ばなしのダンス ～ねずみのすもう～」幼稚園公演 16
 「MEET THE MUSIC ～アーティストが学校にやってくる!」
 ～神川町立神泉小学校 18

COLUMN アーティストの原点 —— 近藤良平 08

MUSIC 2011-2012 音楽ラインナップ発表! 09

COLUMN MUSIC SALON パッハのポートレート 14

REVIEW 2010.11-12月の彩の国のアーツ 16

EVENT CALENDAR & TICKET INFORMATION 17
 THEATER BRIDGE 19



【演出】蛭川幸雄 【作】W.シェイクスピア 【翻訳】松岡和子 【出演】市川亀治郎 寛 利夫 山本裕典 月川悠貴 ほか 10月14日(木)～30日(土) 彩の国さいたま芸術劇場 大ホール © 清田征剛

彩の国シェイクスピア・シリーズ第23弾 『じゃじゃ馬馴らし』 2010年10月19日

中井美穂



なかい、みほ◎アナウンサー。ロサンゼルス生まれ。1987年フジテレビ入社。プロ野球ニュース「平成教育委員会」などの番組で人気を集める。95年結婚を機に退社。現在、スポーツ・情報・トーク・バラエティと幅広い分野のテレビ番組やCMに出演。雑誌「SOXY」(光文社)、新聞などでの連載コラムや、イベント、クラシックコンサートにおける司会や朗読などでも活躍中。

お芝居を観ていると、つい深読みしてしまう。台詞のウラを読み取ろうとする悪い癖が私にはあり、考えながら観てしまうのだ。でも、この『じゃじゃ馬馴らし』は考えるより、俳優さんの技に魅せられて終幕まで舞台上に釘付け状態だった。ラスト近く、亀治郎さんの妻の貞淑と役割をととうと語る長台詞、周囲に共演者のみなさんが固唾をのんで見守っていたが、まさに独り芝居を観ているようで、歌舞伎の見得のたまたまい。夫の剣を抜く演出にもドッキリ、亀治郎さんでありながらキャタリーナ、キャタリーナでありながら亀治郎さんが舞台上に存在するという、お芝居ならではの醍醐味を堪能した。自然な演技に女形の様式、時に地声の男声、そして歌舞伎仕込みの鋭い目線、得も言われぬお芝居の素晴らしさだ。

対するペトルーチオの寛さん、立て板に水のまくし立てる台詞術にハイテンションの小気味いい動き。この二人の絶妙のバトルに、若いカップルの月川さん、山本さんのコンビ。出自の違う俳優が集いながら、予定調和ではない見事なアンサンブルが客席にも伝わり、いつの間にか私も舞台上に立っているような客席との濃密な一体感があった。

実は、私の客席と同じ列に冒頭に登場した酔っ払いのスライが座って、この一部始終を観劇していた。彼が芝居中に何かするのかもしれないや、黙ったまま、ずっと観ているだけ。蛭川さんがおっしゃる「頭がイカれた男女の恋愛」劇を楽しんでいる。私もスライと同じく心底楽しみ、そこにこの劇が旅一座によるお芝居だというフィクション性が示されていた。

劇場を出るときは、スカットとした爽快感があり、歩幅も心持ち広くなったように、この幸福感は、同じ舞台でも東京の劇場では絶対に味わえない。芝居を観に行くために埼玉へ行く、そしてその期待を決して裏切らないのが蛭川演出で、観た者だけが得した気分になる特権にひたつたのである。



MEET THE ARTS!

埼玉県芸術文化振興財団では、「本物の舞台芸術との出会い」を軸に、舞台芸術の芽を育む活動を行なっています。舞台芸術と初めて出会う人もいれば、あらためて本物の素晴らしさに気付く人も。ひとりひとりの心に何かを残す、そんな思いを込めた様々な活動の一部をご紹介。

「日本昔ばなしのダンス」が幼稚園に見参!!

幼稚園に現れた〈やせねずみ〉と〈太ねずみ〉が、すもうをご披露。人気の「日本昔ばなしのダンス」シリーズ。劇場を飛び出し、異例の幼稚園公演!



昨年11月、東京目黒区にある平塚幼稚園に「日本昔ばなしのダンス ~ねずみのすもう~」がお呼ばれした。「日本昔ばなしのダンス」は、コンテンポラリーダンス界の気鋭の振



まずは受付を通ります

ひとりひとり、チケットの裏にはんこを押してもらってから会場に入ります。いつもと違う雰囲気ドキドキ

付家が、誰もが知っている日本昔ばなしの世界を、思いがけない動きとアイデアでダンス化する人気シリーズ。日本各地の劇場で巡演してきた「日本昔ばなしのダンス」だが、今度は劇場を飛び出し、なんと幼稚園での公演が決定。振付家・ダンサーの近藤良平さん、コンドルズの選抜メンバーの鎌倉道彦さん、藤田善宏さん、山本光二郎さんと、元気いっぱいの園児たちが身体をめいっぱい使って楽しんだ。

当日、会場のちゅうりっぷ組の部屋に集まったのは200人もの園児たち。そこに近藤さんがアコーディオンを弾きながら登場。紙芝居のおじさんといった近藤さんの風貌に、園児たちは早くも興味津津。そして、舞台に現れたのは「ももひぎ」の衣裳に



「ねずみのすもう」のはじまりはじまり~

アコーディオンの音色とともに近藤さんの登場。紙芝居のおじさんよろしく、物語の世界へご案内

身を包んだ3人のダンサー。「日本の風景」をテーマに、野山を駆ける動き、田植え、カラス、鈴虫など様々な動きを繰り広げる。単純だけれども、ユーモアたっぷりの動きに園児たちは大喜び。想像力を働かせて「あ

2匹のねずみのすもう対決!

やせっぼちのねずみと、太っちょねずみのガチンコ勝負。1回戦は、太ねずみがやせねずみを投げ飛ばして勝利。くやしいやせねずみは、おじさんにももらったおもちをパクパク。するとまさかの大逆転!



うりゃ~勝った!!



れなあに?」「鳥!」「カラスだよ!」なんて声が、笑い声と一緒にあちこちから聞こえてくる。お待ちかねのねずみたちのすもうが始まると、視線は一気に舞台に集中。〈太ねずみ〉に勝てない〈やせねずみ〉が、おじさんにももらったおもちを食べると、見る見るうちに元気百倍、勇気百倍! さあ、〈やせねずみ〉は〈太ねずみ〉に勝てるのか? そんな2匹のねずみを食い入るように見つめ、身を乗り出して応援の声をあげる園児たちは、すっかり「ねずみのすもう」の世界に引き込まれた様子。

続いて行われたワークショップでは、「日本の風景」にチャレンジ。まずはコンドルズのメンバーのお手本から。仰向けに寝ころがり足を垂直に上に伸ばして、足先をバタバタさせると「カラス」、上げた足をぐるーっと円を描くようにすると「トンビ」の出来上がり。「じゃあみんなでもやってみよう!」と言葉をかけられると、待ちましたといわんばかりに、園児たちは一斉に仰向けになって足を上に伸ばして鳥の動きを作り始めた。今度は少し難易度の高い「鈴虫」に3人1組

で挑戦。四つん這いになった2人の上に乗っかって作るこの形は、3人の呼吸が大事。四つん這いになった2人の高さがあわず、その上にうまく乗れずに落ちたりして



きれいに決まった「トンビ」!

足をきれいに伸ばして、みんなの呼吸をあわせて円を描きます。パーフェクト!

難易度最高レベル! 「鈴虫」にチャレンジ!

コンドルズの「鈴虫」は、お母さんたちからため息が出るほどの完成度。子どもたちも果敢に挑みます。落ちてもくずれても何のその!



子どもたちからの「ありがとう」

子どもたちが収穫した古代米と銀杏。「ありがとう」の気持ちと一緒に近藤さんたちへプレゼント!



子どもたちのアンケート

「おもちを取り合ってたけど、ばくっと食べて、仲良くなったところがおもしろかった」
「おじさんのダンスは上手でかっこよかった」
「3人でダンスしているところは後ろに影がうつって、影絵みたいでかっこよかった」
「今日ね、ちゅうりっぷの部屋から出るのやなぐらい全部おもしろかったんだ。ねずみさんとすもうしたかった」
「すっごくおもしろかった!! やせてるねずみが勝って良かった!!! アイツ(ふとっちょねずみ)ずるしてたじゃん!」

MEET THE MUSIC

～アーティストが学校にやってくる!

子どもたちの目の前に、プロのアーティストが楽器片手に登場する。
学校のいつもの体育館やランチルームが、エキサイティングなステージに大変身!

Photo: 加藤英弘

昨年12月13日、金管五重奏団 Buzz Five(バズ・ファイブ)の5人のアーティストが、神川町立神泉小学校を訪れた。出迎えてくれたのは同小学校児童37人と神泉中学の中学生26人。

「MEET THE MUSIC～アーティストが学校にやってくる!」は普段なかなかコンサートホールに足を運ぶ機会がなかったり、本格的な楽器の音色に接することが少ない子どもたちに、生の音楽の迫力を体感し、音楽を聴く楽しみや楽器への親しみをもってもらおうと、6年前から埼玉県芸術文化振興財団が行っている、いわば「出前ミニ・コンサート」。

今回の会場は小学校のランチルーム。ステージがあって客席があってというコンサートホールのような距離はなく、座っている児童・生徒たちの間を演奏しながら登場した5人のアーティスト。もうその時点で、緊張しながらコンサートが始まるのを待っていた子どもたちの目は輝き、拍手にあわせてコンサートが始まった。まずは挨拶代わりに《スターダスト》と、本格的な金管五重奏のための曲《プラス・メナジェリー》を披露。金管の迫力とプロのテクニックを目の前に、子どもたちは早くも演奏に引き込まれたようだ。次は金管楽器の紹介とともに、トランペットにホルン、トロン



埼玉県北西部にある神川町(旧神泉村)が今回の出張先

ボーン、チューバの音色をフィーチャーした曲を次々に演奏。音の出る仕組みもこの場で知ってもらおうという趣向だ。

そしてお待ちかねの指揮者体験コーナー。小学生1名、中学生1名、および中学校の先生の指揮で、何とベートーヴェンの《交響曲第5番「運命」》の冒頭の部分を Buzz Five が演奏するというわけだ。聞いたことがあるおなじみの曲だが、いざ指揮するとなるとなかなかたいへん。まずは Buzz Five のメンバーがお手本を披露するが、それを見たトップバッターの女の子はしばらく目をぱちくり。何か大変なことになってしまったという表情だが、おずおずと指揮



「運命」を見事に指揮する中学生

棒を下ろし、自分の振る指揮棒にあわせて金管の音が奏でられると、緊張は残りつつも気分はすっかり指揮者。その様子をほらはらしながら見ていた子どもたちからも、Buzz Five が友だちの指揮で見事な「運命」を奏でると盛大な拍手が起こった。

後半、《小さな世界》を金管五重奏の演奏でみんなで合唱。最後のディズニーメロデーになると、口ずさんだり、体でリズムをとったり、子どもたちもすっかり楽器になじんだよう。50分はあっという間に過ぎてゆき、「もっと聴きたい」という子どもたちの声に答えてアンコールを一曲。《明日があるさ》を演奏して、湧きかえる拍手の



子どもたちの目の前で演奏しながらの楽器紹介。トロンボーンを真近に見て聴いて、ビックリ

なか、コンサートは終了した。

アーティストはもちろん本気。プロが演奏する姿を間近に見て聴いて、子どもたちは楽器の生の音色の迫力を体感し、音色の素晴らしさが心に残ったことだろう。もしかしたら、この日の子どもたちのなかから未来のアーティストが生まれるかもしれない

いし、そうでなくてもずっと音楽を愛する心が芽生えてくれればという「MEET THE MUSIC」、まさに音楽との素敵な出会いだ。今年度(平成22年度)そんな出会いを演出しているアーティストは3組、公立文化施設との共催も含めて5つの県内の公立小学校・中学校を訪れ、その使命を果たしている。



Buzz Five と心をひとつに《小さな世界》を合唱

子どもたちのアンケート

「知っているきょくがあったので、うたいそうになりました」
「ぼくも金管楽器をふいてプロになってみたいです」
「はじめてプロのえんそうを聴いたのでこんなにすごいんだとびっくりしました」
「みなさんの演奏する姿がとても素敵でキラキラしていました」
「入場する時、まさかの楽器を吹きながらだったので、とてもびっくりしました」
「聴いている人も楽しいし、演奏している皆さん自身も楽しそうで、これが本当の音楽なんだと思いました」

演奏者プロフィール

木管五重奏

阿部真美(フルート) 藤村理子(オーボエ)
小坂真紀(クラリネット) 井上直哉(ファゴット)
奈良京子(ホルン)

オーケストラ・ソロ・室内楽などでフリー奏者としての演奏活動、小中学校を中心としたアウトリーチ活動、後進育成の指導など、各方面で活躍中のメンバーにより構成される。

クラール弦楽四重奏団

佐久間瑞穂(第1ヴァイオリン)
宮澤さやか(第2ヴァイオリン)
富田大輔(ヴィオラ) 大瀧奈奈(チェロ)

1999年～2000年に行なわれた埼玉県主催「彩の国新進音楽家オーディション」合格者によって結成。埼玉県内各地の小中学校でコンサートを行なうほか、室内楽リサイタルも多数開催。

金管五重奏団 Buzz Five

上田 仁、小川 聡(トランペット)
友田雅美(ホルン) 加藤直明(トロンボーン)
石丸薫恵(チューバ)

東京藝術大学の同期生によって結成。2000年、藝大室内楽定期演奏会への出演を皮切りに、数多くの公演を行なう。東京文化会館では毎年、バズ・ファイブ・リサイタルを開催。



2010年度 MEET THE MUSIC 実施校一覧

5月11日(火) 本庄市立共和小学校(児童199人)

出演=木管五重奏
曲目=モーツァルト: 歌劇《魔笛》より序曲
J.S.バッハ: 主よ、人の望みの喜びよ
ガーシュウィン: 《3つのプレリュード》より
マンシーニ: ピンク・パンサー ほか

6月15日(火) 上里町立長幡小学校(児童240人)

出演=クラール弦楽四重奏団
曲目=パッヘルベル: カノン
モーツァルト: 《アイネ・クライネ・ナハトムジーク》より第1楽章
～指揮者に挑戦～ ベートーヴェン: 交響曲第5番「運命」より ほか

6月24日(木) 美里町立大沢小学校(児童98人)

出演=クラール弦楽四重奏団
曲目=パッヘルベル: カノン
モーツァルト: 《アイネ・クライネ・ナハトムジーク》より第1楽章
～みんなで歌おう～ 大沢小学校校歌 ほか

11月29日(月) 横瀬町立横瀬小学校(6年生90人)

12月1日(水) 横瀬町立横瀬小学校(5年生100人)

出演=金管五重奏団 Buzz Five
曲目=カーマイケル: スターダスト
チャータム: 《プラス・メナジェリー》より第1楽章
アンダーソン: トランペット吹きの休日
モーツァルト: 《ホルン協奏曲第1番》より第1楽章 ほか
※横瀬町教育委員会との共催

12月13日(月) 神川町立神泉小学校(児童37人)・神泉中学校(生徒26人)

出演=金管五重奏団 Buzz Five
曲目=カーマイケル: スターダスト
チャータム: 《プラス・メナジェリー》より第1楽章
～指揮者に挑戦～ ベートーヴェン: 交響曲第5番「運命」より
～みんなで歌おう～ 小さな世界 ほか



Photo: HARU

アーティストの原点 Vol.01 近藤良平

コンドルズの活動のほか、テレビや映画での振付、役者として舞台に出演するなど、多岐にわたり活躍中の近藤良平さん。ダンスとの出会いから、その後のダンスとの関係について、お話を伺った。

僕は小学校4年から6年までアルゼンチンに住んでいたんです。アルゼンチンのfolklore(民族音楽)には、日本でいうところの演歌歌手みたいな人と、その横でギターを演奏している人がいて、さらに、踊る人がいるんです。僕はその頃、楽器がとても好きだったので、ギターを弾いている人を最初は見ていたんですけど、いつの間にか踊りの方をよく見るようになりましたね。「落ち着かない類人猿」の僕は、それを見ながら身体を動かしていた気がします。それが、ダンスって面白そうと思った初めの記憶かな。

映画、MTVのダンスマニア

中学生の時は、映画をよく観ていて、フレッド・アステアやサミー・デイヴィス・Jr.とかが好きでした。フレッド・アステアなんて力の抜き具合がすごくて、サミー・デイヴィス・Jr.はちっちゃいのかっこいいの！高校生の時は、男4人で男子体操部を作ったんですよ。バク転とかバク宙とか鉄棒とか回れたらかっこいいと思って。バク転とかの技ができるようになると、人に見せたい表現欲みたいなのがでてきて、高校3年の4月、新入生歓迎会で部員を集めるために踊ることにしたんです。少年隊の『仮面舞踏会』をやりました。踊ってバク転やって。そうしたら、20人くらい新しく入った(笑)。それは人に見せる踊りとして、努力して人を引き寄せましたね。踊りは得意じゃなかったけど、結構中心になって、「お前こっちに立て」みたいな感じでやっていたかな。

その頃、MTVにもすごくはまっていました。マイケル・ジャクソンの『スリラー』

のミュージック・ビデオを、ベータマックスで録画して、何度も何度もコマ送りして、足の動きとかを覚

えました。「マイケルはすごく踊りが上手だけど、自己流だなあ。なのに、なんでこんなに上手いんだろう？」って。プリンスもよく観ていて、僕、プリンスの研究魔だったんですよ。プリンスは回転するとき、かかとでまわるんです。じゃあマイケルは？と思って、マイケルの動きを見ると、マイケルはつま先でまわるの。「うーん、どっちが正しいんだろう？」って(笑)。M.C.ハマーやRun-D.M.C.が出てきて、ダンスの雰囲気が変わってくると遠のいてしまったんだけど、それまでのMTVのダンスというダンスはチェックしていました。今思うと、かなり研究していたし、かなり好きだったんだね。あの頃のはすごく面白かったですよ。僕もちょっと間違ったら、映像作家とかそっちの道に行っていたかも。

楽しいことを楽しみながら

大学ではダンス部に入っていて、かなり抽象的なダンスをやっていました。常にレオタードで、感情表現は一切なし、みたいな。フォーサイズ(※)じゃないけど、身体にある意味投げうつつか、可愛がらせないとか。とても過酷で、それはそれですごいんだけど、ここでは僕は表現できないなと思って辞めました。でも、そういう世界があるということを知ったのはとてもよかったですね。逆に、僕ならこうやるな、というのが早くに分かることができたので。

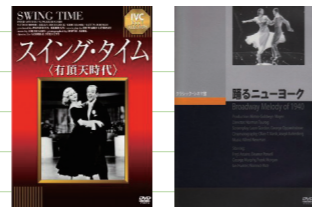
その後は、かなり自由にやりました。早稲田に移り住んで、今のコンドルズのメンバーに会って。その時は、何か機会があれば、石淵さんと演奏したり踊ったりしていました。渋谷の野外音楽堂でパフォーマンスしたり、二人で好き勝手に路上表現活動みたいなことを。でも、これを仕事にしようとは全く思っていなくて、ただ楽しいことをやりたかった。そして、自分も楽しみながら、人も楽しんでもらいたって思っ

ていました。これが僕の原点っぽくて、ずっと変わらないのかもね。

※コンテンポラリー・ダンスにおける最も先進的な振付家の一人。ダンサーの身体能力の極限に挑むかのような、複雑で難度の高い超絶技巧を要する振付けが特徴。

フレッド・アステア、サミー・デイヴィス・Jr.の出演作から近藤さんのオススメ!

踊りばりばりです



左:『有頂天時代』(1936年)

ミュージカル映画史上の名コンビ、アステア&ロジャースによる優雅で華麗なダンス・ミュージカル。偉大な黒人タップダンサー、ビル・ボージャングルス・ロビンソンに敬意を表して、黒塗りのアステアがソロで踊る『ボージャングルス・オブ・ハーレム』は必見! (販売元: IVC, Ltd. / 1,890円(税込))

右:『踊るニューヨーク』(1940年)

アステアとタップの女王エレノア・パウエル主演のダンス・ミュージカル映画の金字塔的作品。ラストの『ビギン・ザ・ビギン』のメロディに乗せて二人のダンスの名手が踊る場面は、ミュージカル映画の名場面中の名場面! (販売元: ビデオメーカー / 5,040円(税込))

踊りがすぎになる

『ザッツ・ダンシング』(1984年) アメリカ映画のダンスの魅力が詰まんだカタログ的作品。19世紀の偉大な舞踏家イザドラ・ダンカンの記録から、マイケル・ジャクソンの『今夜はビート・イット』に至るまでの、ありとあらゆるダンス・シーンの名場面集。(販売元: Warner Home Video / 輸入版)

近藤良平

こんどう・りょうへい

振付家、ダンサー。1968年生まれ。ペルー、チリ、アルゼンチン育ち。20ヶ国以上で公演、ニューヨークタイムズ紙絶賛、渋谷公会堂公演も即完満員にした男性学ランダンスカンパニー・コンドルズ主宰。現在、NHK連続TV小説『てっぺん』オープニング振付、NHK総合『サラリーマンneo』内「テレビサラリーマン体操」振付レギュラー出演中。TBS系列『情熱大陸』出演。NODA・MAPの『THE BEE』で鮮烈役者デビュー。三池崇史監督映画『ヤッターマン』振付。コンドルズバンドプロジェクト・ストライクではベースを担当。

2011-2012

Music Line Up

2011年から2012年、聴きどころ満載のクラシック・ラインナップ



Photo: S.Takehara

2011 7.3(日)

NHK 交響楽団 パブロ・ヘラス=カサド cond. 神尾真由子 vn. 会場=埼玉会館 大ホール

10.1(土) 小曾根真の現在 Vol.2

10.15(土) 小菅優の現在 Vol.3
ピアノ・リサイタル~シューマンとリスト~

11.5(土) カレファックス・リード・クインテット

11.26(土) ピアノ・エトワール・シリーズ Vol.16
ダヴィッド・フレイ ピアノ・リサイタル

12.10(土) バッハとの対話 Vol.1 堤剛
無伴奏チェロ組曲全曲演奏会1

12.11(日) バッハとの対話 Vol.2 堤剛
無伴奏チェロ組曲全曲演奏会2

12.23(金・祝) バッハ・コレギウム・ジャパン
ヘンデル《メサイア》
鈴木雅明 cond.

2012 1.7(土) 埼玉会館ニューイヤー・コンサート 2012
新日本フィルハーモニー交響楽団
広上淳一 cond. 市原愛 sop.

1.28(土) バッハとの対話 Vol.3 寺神戸亮
無伴奏ヴァイオリンのためのソナタと
パルティータ全曲演奏会1

1.29(日) バッハとの対話 Vol.4 寺神戸亮
無伴奏ヴァイオリンのためのソナタと
パルティータ全曲演奏会2

2.25(土) バッハとの対話 Vol.5 小山実稚恵
《ゴルトベルク変奏曲》ほか

3.18(日) ピアノ・エトワール・シリーズ Vol.17
金子三勇士 ピアノ・リサイタル

※2010.12.現在の情報です。やむを得ぬ事情により、出演者等が変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。
※会場は、特に記載のないものは、彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホールです。
※チケット料金・発売日等は順次、「埼玉アーツアター通信」前売情報ページ、ホームページ等でお知らせいたします。
※ファミリー・コンサート、ランチタイム・コンサート、プロムナード・コンサートの日程は、P.12~13でご確認ください。

Photo: T.Nagata Photo: Kiyotaka Saito Photo: Katsuo Sakayori Photo: Steffen Jänicke ©Miguel Penálver Photo: K.Miura Photo: Greg Sallor Photo: Marco Borggreve



Photo: 池上直哉

2011-2012 Music Line Up

より深く、さらに広く、クラシックは進化する 彩の国のクラシック

「新しい酒は新しい革袋に入れるべきだ」。マタイ伝9章に記されたイエスの有名な言葉である。施設リニューアルに伴い休館するために、彩の国さいたま芸術劇場音楽ホールでの公演はしばらくおやすみとなる。しかし、リニューアルした後は数多くの素晴らしい公演が予定されている。彩の国さいたま芸術劇場で行なわれたこれまでの公演の伝統を引き継ぎつつ、新たな息吹をクラシック界に送る意欲的な公演を紹介していこう。

文：片桐卓也 [音楽ライター]



堤 剛



寺神戸 亮



小山実稚恵

「バッハとの対話」シリーズ

実力派がそろって大バッハと向き合う

西洋音楽の中央にドッシリとした存在感で位置する大バッハの音楽。それは接する者にいつでも初心を思い出させてくれる音楽でもある。同時に、多くの演奏家が自分の原点としてバッハの音楽をあげている。音楽ホールのリニューアル後の中心には、このバッハを取り上げるシリーズが予定されている。

まず12月には堤剛が2日連続でバッハの無伴奏チェロ組曲全曲の演奏会を行なう。1720年頃にまとめられた全6曲のチェロ曲は、あのカザルスが積極的に取り上げることで現代のチェリストにとって最も重要な作品となった。聴き手にとっては、全6曲をどのような順番で演奏するのか、

など興味の尽きない作品だ。チェロ界を牽引する堤にとっても、何度も挑戦して来た作品であり、彼の情熱的な演奏に触れるたびに聴き手も新しい発見をしてきた、そんな作品である。2011年のバッハ。音楽ホールに響き渡るそのチェロの音色はきっとさらに熱っぽさを帯びているに違いない。

続いて2012年の1月にはバロック・ヴァイオリンの代表的奏者である寺神戸亮がヴァイオリンの無伴奏曲全6曲を2日連続で演奏する。バッハの生きていた時代の表現を求めて当時の楽器や奏法を知り尽くす寺神戸にとっても、この無伴奏ソナタ&パルティータの連続演奏会はチャレンジとなるだろう。ここ数年で、無伴奏チェロ曲を

ヴィオロンチェロ・ダ・ス帕ッラという復元楽器で演奏していた寺神戸だが、その新鮮なアプローチによってバッハの音楽を生き生きと再現していた。その意欲そのままに、ヴァイオリンでも新たな世界を見せてくれることに期待しよう。

その後に登場する小山実稚恵は《ゴルトベルク変奏曲》を演奏する。アリアを30回変奏した後、もう一度アリアに還る。まさに長い旅のような変奏曲である。グールドの名演以来、多くの現代のピアニストが取り上げる作品となったが、それぞれに解釈も音楽作りも個性的な表情を見せる作品だ。ピアニストとしての階段を一步ずつ上り続ける小山が、これをどう表現するか？

「現在」シリーズ

今度はどんな…… 期待ふくらむ、この2人

注目される演奏家の「現在」に注目したシリーズは、それぞれの演奏家を3年にわたってフォローする。「小菅優の現在」も2011年で第3回目となる。第1回はデュオ&トリオ、第2回はシューマンの室内楽と、これまでシューマンを軸に取り上げてきた小菅。第3回目もシューマンとリストの作品をテーマにプログラミングをする予定だ。ロマン派の最盛期に活躍したふたりの作曲家だが、音楽作りは正反対。シューマンの内向的な性格に対し、リストは社会的であり、同時に神秘主義者としての一面も持っている。それぞれの個性の違いを、ロマン派音楽を得意とする小菅がどう表現するのだろうか。2010年のサイトウ・キネン・フェスティバルなどでも活躍、ますます音楽的

Photo: Steffen Jänicke



小菅 優

Photo: Kiyotaka Saito



小曾根 真

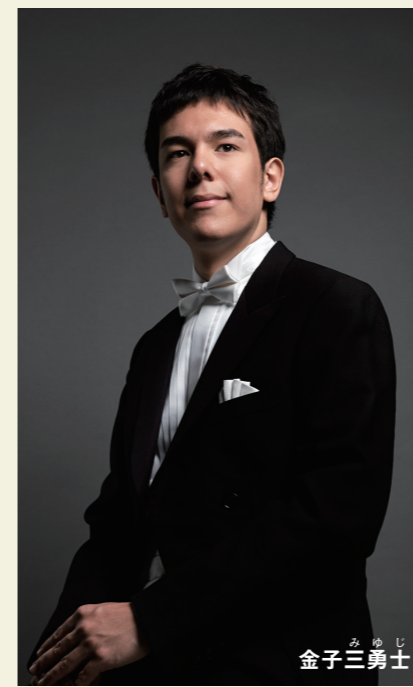
な充実度を増している小菅の演奏に注目だ。

ジャズ・ピアニストである小曾根真の「現在」シリーズ第1回は刺激的な演奏会だった。見玉桃を迎えて2台ピアノのための作品を演奏したが、中でもストラヴィンスキーの《春の祭典》は圧巻だった。見

玉が初めてジャズ風アドリブに挑戦したアンコールなど盛りだくさんの内容だった。2011年のコンサートの内容は例によって(?)当日まで分からない。しかし、想像を超えた演奏会となって、楽しめることは間違いない。

「ピアノ・エトワール」シリーズ

いま聴いておきたい新鋭ピアニストに注目



金子三勇士

Photo: Kei Uesugi

彩の国さいたま芸術劇場音楽ホールでは、若手のピアニストたちが次々と名演を繰り広げてきた。「エトワール」シリーズではいち早くその才能を紹介してきた。

2011年秋の第16回に登場するのは、フランスのダヴィッド・フレイ。1981年生まれで、パリ国立高等音楽院でジャック・ルヴィエに師事した。バッハとブーレーズによるCD(ヴァージン)をリリースするなど、すでに世界的な活躍を始めているフレイ。日本でもNHK交響楽団の定期に出演するなど、その演奏が話題となったし、2010年にはニューヨーク、カーネギーホールにデビューした。今回彩の国では、モーツァルトのソナタ第8番二長調 KV 311をはじめ、ベートーヴェンのソナタ第21番「ワルトシュタイン」などを演奏する。リサイタ

ダヴィッド・フレイ



© Sumyo Ida-Virgin Classics

ルでの実力を知るチャンスである。

2012年の第17回には金子三勇士が登場する。1989年生まれ。日本とハンガリーのハーフで、ブダペストのリスト音楽院で大学課程を修了した後、現在は在籍する東京音楽大学で研鑽を積んでいる。2008年には第3回のバルトク国際コンクールで優勝し、リスト作品集のCDをリリースするなど、その音楽性が注目を集めている。プログラムはこのシリーズで取り上げられたことのないバルトク作品を中心に選考中とのこと。新鋭の響きがシリーズに新しい1ページを加える。

カレファックス

オランダの 人気管楽器グループ初登場

カレファックス・リード・クインテットはリードを使った管楽器5人によるオランダのグループ。彼らの演奏する音楽はルネサンス以前のヨーロッパ音楽から現代のジャズまで幅広い。オーボエ、クラリネット、バスーン、サクソフォン、バス・クラリネットという楽器編成もユニークだ。メンバー自身が編曲も担当し、ヨーロッパではクラシックの音楽祭だけでなくジャズ音楽祭でも活躍するなど、人気グループで注目度も高いと言う。彩の国さいたま芸術劇場には初登場。斬新な管楽アンサンブルはどんな夢を音楽ホールに広げてくれるのか。管楽器に関心のある方は必聴のコンサートになる。

Photo: Rob Marinissen



結成から25年を経過したベテラン・グループ。演奏する楽曲のほぼ半数は、サクソフォンのラーフ・ヘッケマが編曲している。バス・クラリネット担当のアルタウスはバセット・ホルンも演奏する。

Photo: Marco Borggreve



鈴木雅明

バハ・コレギウム・ジャパン

ちょっと気が早いですが年末には《メサイア》



Photo: K.Miura

音楽ホールではすでに常連となったバハ・コレギウム・ジャパン(BCJ)。2011年12月23日には6年ぶりに音楽ホールでヘンデルの《メサイア》公演を行なう。スウェーデンのBISレーベルへの録音(バハのカンタータ全集はまだ進行中だ)で世界各地でもファンの多いBCJ。彩の国さいたま芸術劇場での公演も常に満員御礼で、毎回楽しみにしているお客様も多いと聞く。音楽ホールの豊かな響き、604席という客席数は古楽の演奏会にはぴったりだ。《メサイア》はヘンデルの代表作というだけでなく、合唱も管弦楽も堪能できる、実に豪華な作品である。クリスマス直前のひとときを、この傑作の響きに包まれて過ごすのはとても贅沢な時間の使い方だ。

N響+ニューイヤー 埼玉会館

オーケストラの魅力にひたる、 埼玉会館恒例のコンサート

埼玉会館では恒例のNHK交響楽団の演奏会が2011年7月に行なわれる。指揮者はパブロ・ヘラス=カサド(Pablo Heras-Casado)。スペイン出身の若手指揮者で、すでにNHK交響楽団とは2009年にサントリーホールで共演。欧米の主要オーケストラや歌劇場でも活躍中で、スペインから久々に登場した本格派指揮者として注目を集めている逸材だ。しかも2011年10月にはベルリン・フィルへのデビューが決まっている。共演はチャイコフスキー・コンクール優勝後、世界的な活躍を続ける神尾真由子で、チャイコフスキーの協奏曲を演奏する。まさに昇り龍の勢いと言いきふたりの若手が充実した音楽を届けてくれるはずだ。そして埼玉会館のもうひとつの恒例演奏会と言えば新年を飾るニューイヤー・コンサート。2012年の話だが、広上淳一指揮

©Miguel Penálvarez



パブロ・ヘラス=カサド

©Uwe Arens-Sony Masterworks



神尾真由子

Photo: S.Takehara



NHK交響楽団

の新日本フィルハーモニー交響楽団が登場する。新日本フィルハーモニーも埼玉会館には2008年以來毎年登場している楽団で、すでにお馴染みという方も多いただろう。現在のところ期待の新星・市原愛(ソプラノ)が出演することが決まっている。市原は東京

藝大卒業後ミュンヘン国立音大に留学し、ドイツ各地で活躍、その美しい声に数多くの賞賛が寄せられた。新鋭の声、そして2008年から京都市交響楽団の常任指揮者も勤める実力派・広上のタクトで2012年をスタートさせよう。

Photo: K.Miura



新日本フィルハーモニー交響楽団



広上淳一

市原愛

Photo: Greg Sailor

家族で楽しみたい、気軽に楽しみたい方にオススメのコンサート

子どもおとなも一緒に楽しめるファミリー・コンサート



「夏休みオーケストラ」

Photo: 加藤英弘

5月の熊谷会館では、大人気の「ズーラシアンプラス」と「弦うさぎ」が、音楽の楽しさをお届けします。7月の埼玉会館は毎回好評の「夏休みオーケストラ」だ。大編成のオーケストラが奏でる生の音は迫力たっぷり。8月の彩の国さいたま芸術劇場には、「クインテット」でおなじみのアキラさんとアンサンブル・ベガが登場。アキラさんの軽妙なトークがナビゲートする音楽の世界は、まさにミュージック・エンターテインメント。ご家族そろってお楽しみください。

- 5.28(土) 14:00 ~ 15:30 (3歳以上)
熊谷会館ファミリー・コンサート 音楽の絵本
- 7.31(日) 14:00 ~ 16:00 (3歳以上)
埼玉会館ファミリー・クラシック 夏休みオーケストラ!
飯森範親 cond. 朝岡 聡 MC 東京交響楽団
- 8.20(土) 彩の国さいたま芸術劇場ファミリー・コンサート
宮川彬良&アンサンブル・ベガ
① 11:30 ~ 12:40
(音楽を楽しく聴ける3歳以上のお子様とご家族のためのコンサート・休憩なし)
② 17:00 ~ 19:00
(たっぷり聴きたい方のためのコンサート ※小学生以上対象)

気軽に楽しむクラシック

写真提供: ビクターエンタテインメント(株)

©平野愛



三浦一馬



通崎睦美

埼玉会館 ランチャイム・コンサート

お昼のひととき、1,000円で気軽に良質の音楽をお届けします。一流の奏者による演奏と、肩ひじはらないトークで楽しむ50分間のミニ・コンサート。

- 5.24(火) 第14回 NHK交響楽団メンバーによる弦楽四重奏
- 9.16(金) 第15回 三浦一馬(バンド・ネオン)
- 12.15(木) 第16回 東京交響楽団メンバーによるアンサンブル
- 2012.3.22(木) 第17回 通崎睦美(木琴)
- 各回12:10 ~ 13:00
- 会場 = 埼玉会館 大ホール

光の庭プロムナード・コンサート

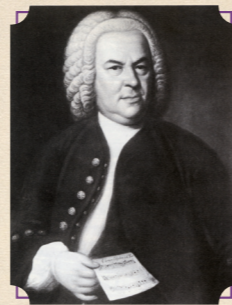
ポジティブオルガン(移動可能な小型のパイプオルガン)と器楽・声楽とのアンサンブルでお届けする40分間のミニ・コンサート。入場無料で年齢制限がないので、小さなお子さんと一緒に楽しめます。

- 第46回 8.27(土) 夏休みスペシャル、第47回 9.24(土)、第48回 11.19(土)、第49回 2012.1.21(土)、第50回 3.24(土) 第50回スペシャル
- 各回14:00 ~ 14:40
- 会場 = 彩の国さいたま芸術劇場 1階 情報プラザ

Music Salon

「バッハ」とはドイツ語で「小川」を意味することから、後にベートーヴェンが、「バッハは小川ではなく大海である」と称賛したのは有名な話。現在も多くの演奏家が、バッハの音楽を「バイブル」と位置づけるが、その栄光の陰には、バッハの並々ならぬ努力と苦勞の連続があった。バッハのポートレイトを駆け足でたどってみよう。

文：後藤真理子 [音楽ライター]



J.S. Bach

ばれるものでもある。

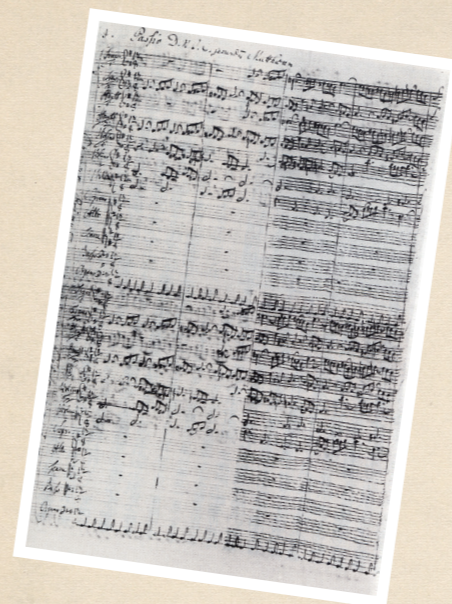
非常な努力家で勉強家でもあったバッハは、当時最先端とされていた、ヴィヴァルディやトレッリらイタリアの音楽家たちの作品も、積極的に研究したという。また、当代一のオルガニストと評されていたブクステフーデの演奏を聞くために、遠く北ドイツのリューベックまで赴き、4週間の休暇を勝手に16週間に延長したとも伝えられている。

そのためか、成年した後のバッハは、まずい音楽家に対して手厳しかった。バッハから「靴屋になったほうがまし」と酷評されたオルガニストもいれば、ファゴット演奏を「年取った山羊のようだ」とけなされて、怒って暴力沙汰に及んだ学生までいるのである。

聖トーマス教会の音楽監督として活躍

今日でこそクラシック音楽の金字塔とされるバッハであるが、実のところ生前は名声をほしいままにしていたわけではない。作曲家としてよりは、演奏家として評価されており、その作品は「多様に過ぎ、感情的過ぎる」と否定的に言われることもあった。

各地で引く手あまたというわけではなかったから、就職活動は熱心に行なっていた。18歳でアルンシュタットの教会オルガニストになり、5年後にワイマール宮廷に奉職して楽師長にまでなった。しかし楽師長にはなれず、ワイマールを離れて32歳でケーテンの宮廷楽長となる。音楽愛好家のケーテン侯の宮廷での日々は実り多いものであったが、侯妃が音楽に理解がなかったため、結局6年足らずで離職することとなった。1723年、歴史あるライプツィヒの聖トーマス教会のカントル(音楽監督)と



《マタイ受難曲》の自筆譜

なり、1750年に没するまで、終生この職を務めた。

晩年は眼疾に悩み、卒中の発作にも見舞われた。英国の勲爵士で名眼科医という触れこみのジョン・テイラーなる人物の手術を2回にわたり受けるが、視力は戻らなかった。このテイラーは、1758年にヘンデルの目の手術を執刀し、やはり失敗に終わった人物で、むしろ詐欺師に近い男であったようである。

メンデルスゾーンによる「バッハ復活」

2007年に編纂完結した『新バッハ全集』には、実に1100もの作品が収められている。大変な多作であるが、バッハが生きた時代は、音楽は常に新作を供給していくものであった。毎日曜の礼拝用に、常に新作が要求されたのである。そのためバッハは、年間に50曲ものカンタータ(器楽伴奏付き合唱曲。宗教的歌詞の教会カンタータは、ドイツ・プロテスタントの教会音楽として発展した)を書いていた頃があった。もちろん職務はこれだけでなく、ほかにオラトリオや受難曲といった大作も書いた。終日作曲にいそむ姿が想像されよう。

常に新作を要求されるということは、作品は使い捨てされる運命にある、ということでもある。バッハも例外ではなかった。その死の50年後には、バッハの音楽はほとんど忘れられ、古い音楽と見なされた。わずかな好事家が、楽譜を収集していた程

電腦アイドルからもひっぱりだこのバッハの音楽

テレビ、CM、映画などで、誰しもが必ず聴いたことのあるバッハの曲の数々。あげるときりがながい。例えば、映画『海底二万哩』でネモ船長がパイプオルガンで演奏する《トッカータとフーガ ニ短調》BWV565、『羊たちの沈黙』のレクター博士が愛聴するグレン・グールド演奏の《ゴルトベルク変奏曲》、他にも『惑星ソナリス』(《主イエス・キリスト、われ汝を呼ぶ》)、『007 私を愛したスパイ』(《管弦楽組曲第3番》第2曲《エール》)、最近の映画でいえば、松たか子主演の『告白』でも《チェンバロ協奏曲第5番》第2楽章が使用されている。また、クラシックだけでなく、ジャズやポップスなど幅広いジャンルのミュー

ジシャンにも愛好されるのはバッハならではの。古くはオイゲン・ケケロやジャック・ルーシェ、モダン・ジャズ・カルテットなどのジャズ演奏家がバッハを演奏。そして現在ではなんと電腦アイドル「初音ミク」(歌詞と音程を与えることで、コンピューターが人間の声で歌うことができるコンピューター・ソフト)までもが、《小フーガ ト短調》《マタイ受難曲》《主よ、人の望みの喜びよ》等々を歌っている。およそ300年もの長い時間を経てもなお、多くの人に愛され、インスピレーションを与え続けるバッハの音楽。彼の作品のもつ強さがこんなところにも垣間見える。



アイゼナハのバッハハウスの前の立像

ドイツ・バロック音楽の巨匠

「ドイツ三大B」という言葉を聞いたことがあるだろうか。J.S.バッハ、ベートーヴェン、ブラームスという、クラシック音楽史上に燦然と輝くドイツの巨匠3人の姓の頭文字がいずれもBであることから、言われるようになった言葉である。

3人のうち、1685年生まれと、最も生年が早いバッハは「音楽の父」と呼ばれ、今なおその音楽は親しまれ愛されている。単に演奏会で繰り返し取り上げられるだけでなく、映画音楽やテレビドラマ、CMで使われ、果ては替え歌になっていたりする。作品そのものに、長い年月と時勢の嗜好の変化を乗り越える力がなくてはこうはならないわけで、遠く18世紀前半に活躍した人の才能の偉大さが、あらためてしのばれよう。

バッハは、中部ドイツのアイゼナハという町に生まれた。父は町楽師で、一族は100年以上にわたり代々音楽家を輩出して

きた。アイゼナハ周辺で「バッハ」といえば音楽家の代名詞であったともいう。バッハは生まれた時から音楽家になるよう運命づけられていたとも言える。

しかしバッハは、音楽家の血統に安穩とあぐらをかくような人物ではなかった。相次いで両親を失い、わずか10歳で孤児となったのである。長兄の庇護を受けることになったバッハ少年の人生の厳しさは、想像に難くない。長兄の了解が得られなかったために、こっそりと月明かりのもとで楽譜を書き写したという少年期の逸話は、音楽への情熱を示すと同時に、生計の道を音楽に賭けるしかないという強い覚悟がしの



アイゼナハのバッハハウス



カンタータの練習風景(18世紀後半)

度であった。

しかし19世紀に入り、ロマン派の作曲家たちがバッハの音楽に着目する。皮肉なことに、18世紀前半には「多様で感情的」と否定的に評されたバッハ音楽の特徴が、ロマン派の音楽家たちの心の琴線に触れたのである。バッハが今日のような高い評価とともに復活する契機となったのは、メンデルスゾーンによる《マタイ受難曲》復活上演であるが、それは《マタイ》初演から実に百年の時を経た後のことであった。

20世紀に入ると、ロマン派音楽からの脱却を目指したヒンデミットやストラヴィンスキーらが「バッハに還れ」を合言葉とし、その作品を見直し始めた。そこから、ロマン派的なアレンジがほどこされたバッハで

はなく、原典に即したバッハ探求が始まる。その流れに沿って、1970年代以降、バッハ時代の楽器を復元し、原典楽譜通りに演奏しようという運動が盛んになり、新たなバッハ像が示されるに至っている。



ライプツィヒの聖トーマス教会と聖トーマス学校



Photo: 南部辰雄

DANCE 11月6日～7日

アンヌ・テレサ・ドゥ・ケースマイケル+ジェローム・ベル+アンサンブル・イクトゥス
『3Abschied ドライアップシート(3つの別れ)』
マーラー〈大地の歌〉の第6楽章〈告別〉のダンス化に挑戦。現代音楽アンサンブルのイクトゥスを巻き込み、試行錯誤の創作過程をも見せる。最後はケースマイケル自ら歌い、体の内から〈告別〉を表現した。



Photo: 加藤英弘

MUSIC 12月5日

ピアノ・エトワール・シリーズ Vol.14
アレクセイ・ゴルラッチ ～オール・ショパン・プログラム～
「ピアニスト100」シリーズの100人目の演奏者・ゴルラッチが再登場。清潔感あふれる音色に力強さが新たに加わり、初登場時を知る聴衆にとって、彼の確かな成長を感じられる嬉しい演奏会となった。



Photo: 井上嘉和

PLAY 12月2日～5日

維新派(彼)と旅をする20世紀三部作 #3
『台湾の、灰色の牛が背のびをしたとき』
維新派が大ホールに巨大な野外劇場を出現させた。昨年、岡山・犬島で初演した本作では、20世紀アジアの多島海を結ぶ「海的路」を視覚化。美術、音楽、役者、照明が一体となった壮大な世界観は圧巻。



Photo: 加藤英弘

MUSIC 12月10日

埼玉会館ランタイム・コンサート
第12回 東京交響楽団メンバーによる金管五重奏
お昼どきの50分間、気軽に音楽を楽しむコンサート。12月は、クリスマス・ソングから、お馴染みのミュージカルナンバーまで楽しい曲目がずらり。金管の華やかな響きで、ひと足早いクリスマスを楽しんだ。

PLAY 12月16日～26日

さいたまネクストシアター 第2回公演
『美しきものの伝説』(作:宮本研)

蜷川幸雄の若手俳優育成プロジェクト第2弾は、大正の実在の人物をモデルとした青春群像劇。22名の若者が宮本研の傑作戯曲に挑んだ。現代の若者にとって大正の時代は未知の時空間。その溝を埋める表現力を身体に宿し、1年間の成果が感じられる好演をみせた。ゲストの原康義、横田栄司、飯田邦博が若者を支え、〈さいたまゴールド・シアター〉も参加。



Photo: 宮川貴子

1 January	
16 日	MUSIC みんなのオルガン講座 受講生発表会 開演 14:00 会場=彩の国さいたま芸術劇場 情報プラザ ※入場無料
21 金	CINEMA 彩の国シネマスタジオ『闇の列車、光の旅』 上映時間 10:30 / 13:20 / 15:50 / 18:20 ※詳細は下枠にて
22 土	CINEMA 彩の国シネマスタジオ『闇の列車、光の旅』 上映時間 10:00 / 12:50 / 15:20 / 17:50 MUSIC ピアノ・エトワール・シリーズ Vol.15 エフゲニー・ストドビン 開演 15:00 ※詳細は P.18 にて
23 日	CINEMA 彩の国シネマスタジオ『闇の列車、光の旅』 上映時間 10:30 / 13:10 / 16:20 ※13:10上映終了後、山本純一氏によるアフタートークあり
29 土	DANCE コンドルズ 埼玉公演2011新作 『ロングバケーション』 開演 14:00 / 19:00 ※詳細はP.18にて
30 日	DANCE コンドルズ 埼玉公演2011新作 『ロングバケーション』 開演 16:00
2 February	
10 木	CINEMA 彩の国シネマスタジオ 埼玉会館上映会 『樺太 1945年 夏 氷雪の門』 上映時間 10:30 / 14:30 / 18:30 ※14:30上映終了後、主演の二木てるみさんによるアフタートークあり ※14:30上映回は、聴覚障がい者用の日本語字幕・音声ガイドつき。詳細は下枠にて

18 金	MUSIC 埼玉会館ランタイム・コンサート 第13回 ピアノデュオ ドゥオール 開演 12:10 ※詳細は P.18 にて
3 March	
11 金	CINEMA 彩の国シネマスタジオ 埼玉会館上映会 シネコンサート(無声映画上映ピアノ伴奏つき) 『キートンの探偵学入門』『チャップリンの失恋』 上映時間 10:30 / 14:30 / 18:30 ※詳細は下枠、P.18にて

※2月1日(火)から、彩の国さいたま芸術劇場はホールの設備等の改修のため、施設の利用を休止させていただきますのでご了承ください。詳細は P.19 にて
※彩の国さいたま芸術劇場内のチケットセンターは、下記の休館日を除き、改修期間中も営業しておりますので、ご利用いただけます。

【休館日】

1月…彩の国さいたま芸術劇場: 17日(月)、18日(火)、24日(月)
熊谷会館: 17日(月)
2月…彩の国さいたま芸術劇場: 7日(月)、14日(月)、21日(月)、28日(月)
熊谷会館: 15日(火)、25日(金)
3月…彩の国さいたま芸術劇場: 7日(月)、14日(月)、21日(月・祝)、28日(月)
熊谷会館: 15日(火)

彩の国シネマスタジオ
LINE UP 2011.1-3

【料金】大人一律1,000円/小中高生800円(当日支払いのみ)
※3月の上映会は前売あり。料金・発売日の詳細は P.18 にて
【会場】1月/彩の国さいたま芸術劇場 映映ホール 2月、3月/埼玉会館 小ホール



『闇の列車、光の旅』

ホンジュラス、メキシコからアメリカへ—
国境を目指す少女と少年のはかなくも美しい魂の触れ合いに心震える。
中南米の“衝撃の真実”を映した、感動のロードムービー。

1月21日(金) 10:30 / 13:20 / 15:50 / 18:20
22日(土) 10:00 / 12:50 / 15:20 / 17:50
23日(日) 10:30 / 13:10 / 16:20

※23日(日) 13:10上映終了後、山本純一氏によるアフタートークがあります。



『樺太 1945年 夏 氷雪の門』

1945年8月20日、樺太で失われた9人の電話交換手の乙女たちの命。
これは時代に圧殺された真実の物語。
36年前、ソ連の圧力によって封印された幻の名作がよみがえります。

2月10日(木) 10:30 / 14:30 / 18:30

※14:30上映終了後、主演の二木てるみさんによるアフタートークがあります。
※14:30上映回は、聴覚障がい者用の日本語字幕および視聴覚障がい者用の音声ガイドがつけます。
音声ガイドにはイヤホン付きFMラジオ受信機を使用しますので、お聴きになる方はご持参ください。



『キートンの探偵学入門』



『チャップリンの失恋』

シネコンサート(無声映画上映ピアノ伴奏つき)

『キートンの探偵学入門』
『チャップリンの失恋』

無声喜劇映画の名作2本立てを
即興のピアノ演奏とともに楽しみいただく新企画!

3月11日(金) 10:30 / 14:30 / 18:30 (演奏:神崎えり)

『キートンの探偵学入門』(1924年/アメリカ/44分)
【監督】バスター・キートン
【出演】バスター・キートン キャサリン・マクガイア
『チャップリンの失恋』(1915年/アメリカ/19分)
【監督】チャールズ・チャップリン
【出演】チャールズ・チャップリン エドナ・パーヴィアンス

写真提供/発売元:アイ・ヴィー・シー

埼玉会館上映会 3月

前売りチケット発売情報(～2011.3.15)

CINEMA

彩の国シネマスタジオ 埼玉会館上映会
シネコンサート(無声映画上映ピアノ伴奏つき)
『キートンの探偵学入門』
『チャップリンの失恋』

無声喜劇映画の名作2本立てを即興のピアノ演奏とともに
お楽しみいただく新企画!

チケット発売日
一般・メンバーズ: **1月21日(金)**

日時=3月11日(金) 10:30 / 14:30 / 18:30
会場=埼玉会館 小ホール
料金=一般:前売1,500円 / 当日2,000円
メンバーズ、60歳以上、障がい者、小中高生:前売・当日ともに1,500円
詳細はP.17にて

MUSIC

埼玉会館ランタイム・コンサート
第14回 **N響メンバーによる弦楽四重奏**

お昼のひとつき、1,000円で気軽に楽しむクラシック。

チケット発売日
一般: **2月13日(日)** メンバーズ: **2月12日(土)**

日時=5月24日(火) 開演12:10(終演予定13:00)
会場=埼玉会館 大ホール
出演=カルテット・リゾナンツァ 白井 篤(第1ヴァイオリン)
山口裕之(第2ヴァイオリン) 小野 聡(ヴィオラ) 山内俊輔(チェロ)
料金=全席指定1,000円

発売中公演情報(2011.1.15～)

DANCE

コンドルズ 埼玉公演2011新作
『**ロングバケーション**』

日時=1月29日(土) 開演14:00 / 19:00 30日(日) 開演16:00
会場=彩の国さいたま芸術劇場 大ホール
構成・映像・振付=近藤良平
出演=青田潤一 石淵 聡 オクタサシ 勝山康晴 鎌倉道彦 ぎたろー
古賀 剛 小林顕作(映像出演) 田中たつろう 橋爪利博 平原慎太郎
藤田善宏 山本光二郎 近藤良平
料金=一般:前売4,500円 / 当日5,000円 ※学生席予定枚数終了
メンバーズ:前売4,050円 / 当日4,500円

公演詳細は、財団ホームページ

<http://www.saf.or.jp>にて

[チケットの購入方法について]

[電話予約] チケットセンター

0570-064-939

10:00～19:00(休館日を除く) ※一部携帯電話、PHS、IP電話からは受付できません。

MUSIC

熊谷会館ファミリー・コンサート
音楽の絵本 3才以上のお子さんから
楽しんでいただけます

大人気の「ズーラシアンプラス」を
はじめとした動物たちが、子どもも大人も楽しめる
クラシック・コンサートをお届けします。

チケット発売日
一般: **2月13日(日)** メンバーズ: **2月5日(土)**

日時=5月28日(土) 開演14:00
会場=熊谷会館
出演=ズーラシアンプラス(金管五重奏+指揮者+トランペット) 弦うさぎ(弦楽四重奏)
曲目=ロッシーニ:(ウィリアム・テル)序曲 エルガー:愛の挨拶
久石譲:となりのトロロ・モデルレー ほか
料金=大人2,000円 こども(3歳～中学生)1,000円
※3歳未満のお子様のご入場はご遠慮ください。



© スーパーキッズ

MUSIC

NHK交響楽団
パブロ・ヘラス=カサド(指揮) 神尾真由子(ヴァイオリン)

埼玉会館恒例のN響公演。今年は、気鋭の
指揮者ヘラス=カサドと、チャイコフスキー
コンクール優勝の神尾真由子でお贈りします。

チケット発売日
一般: **2月12日(土)** メンバーズ: **2月5日(土)**

日時=7月3日(日) 開演15:00
※開演前に、指揮者によるプレコンサート・トークあり
会場=埼玉会館 大ホール
曲目=チャイコフスキー:ヴァイオリン協奏曲 ほか
料金=一般:S席6,500円/A席5,500円/B席4,000円/学生B席2,000円
メンバーズ:S席6,000円/A席5,000円/B席3,600円



© Miguel Peñalver

MUSIC

ピアノ・エトワール・シリーズ Vol.15
エフゲニー・スドビン

日時=1月22日(土) 開演15:00
会場=彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホール
曲目=スカララッティ:3つのソナタ K.466・K.455・K.27
ショスタコーヴィチ:(24の前奏曲)より 第2・6・17・24番
ショパン:バラード第3番、バラード第4番 リスト:夕べの調べ ラヴェル:夜のガスパール
※当初発表のプログラムが変更となりました。あらかじめご了承ください。
料金=一般:正面席3,500円 メンバーズ:正面席3,150円 ※バルコニー席・学生席予定枚数終了

MUSIC

埼玉会館ランタイム・コンサート
第13回 **ピアノデュオ ドウオール**

日時=2月18日(金) 開演12:10(終演予定13:00)
会場=埼玉会館 大ホール
出演=藤井隆史 白水芳枝(ピアノ)
曲目=ショパン(グールド&シェフター編曲):幻想即興曲(2台ピアノ版)
ショパン(サミュエルズ編曲):子犬のワルツ(2台ピアノ版)
ミヨー:スカラムーシュ ほか
料金=全席指定1,000円

[窓口販売] ※休館日を除く
・彩の国さいたま芸術劇場 10:00～19:00
・埼玉会館 10:00～19:00 ・熊谷会館 10:00～17:00

[SAF Online Ticket]
一般発売初日10時より受付開始し、公演前日23:59まで受付いたします。
・財団ホームページ <http://www.saf.or.jp>
・携帯サイト <http://www.saf.or.jp/mobile/>
※利用登録が必要です(無料)。



THEATER BRIDGE

Information

施設利用休止のお知らせ



彩の国さいたま芸術劇場は、2010年10月で開館16年を迎えました。
皆さまのご愛顧に深く感謝申し上げます。さて、当劇場におきま
しては、今後も皆さまに安心して安全に施設をご利用いただくため、ホー
ルの設備等の改修を予定しております。

主な改修内容

- ・外壁補修、電気設備、給排水設備、空調設備の更新
- ・舞台機構設備(ワイヤーロープ、移動機構、操作制御盤等)更新
- ・舞台照明設備(配電盤、照明操作卓、コンセントダクト等)更新
- ・舞台音響設備(音響調整卓、入出力パッチ盤、電力増幅器等)更新
- ・映像設備(プロジェクター、スクリーン)更新
- ・大ホール女性トイレの増設
- ・小ホール客席内の手すり設置など

このため、下記の期間、施設のご利用を休止させていただきます。
ご不便をおかけしますが、何とぞご理解くださいますようお願い申し上げます。

- ・大ホール、小ホール 2月1日(火)～7月31日(日)
- ・音楽ホール、映像ホール 2月1日(火)～7月14日(木)
- ・稽古場、練習室 2月1日(火)～6月30日(木)

※改修期間等に変更が生じた場合は、財団ホームページ等でお知らせいたします。

【問合せ先】

彩の国さいたま芸術劇場
管理課施設担当 Tel.048-858-5508

Information

「埼玉伝統芸能フェスティバル」 ～地芝居・小鹿野歌舞伎～ 観覧申込み受付中!

「埼玉伝統芸能フェスティバル」は、普段なかなか見ることのできない
古くから地域に伝わる伝統芸能を皆様に御紹介します。今年度は小鹿野町
の地芝居「小鹿野歌舞伎」を上演します。

また、歌舞伎の舞台裏である化粧や着付けもワークショップで御覧いた
だけます。



Photo: 山口清文

【日時】2月13日(日) 開演13:00(開場12:30)
【会場】埼玉会館 大ホール(入場無料/要申込)
【主催】埼玉県/(財)埼玉県芸術文化振興財団/(財)自治総合センター
【協力】小鹿野町 【オープニング】小鹿野太鼓連合「秩父囃子」
【演目】小鹿野子ども歌舞伎:「口上」こまがまがたいけんくどうやかのぼ
「寿曾我対面工藤館之場」こまがまがたいけんくどうやかのぼ
小鹿野歌舞伎保存会:「仮名手本忠臣蔵七段目一茶屋之場」

◎申込方法

次の事項を明記の上、はがき、FAX、Eメール、電話または埼玉県ホームページ
の簡易電子申請からお申込みください。

【記入事項】①郵便番号・住所 ②氏名(ふりがな) ③電話番号

④申込者以外の観覧者氏名(3名まで)

※1回のお申込みで4名までお申込みできます。

【締切】1月31日(月)(当日消印有効) ※定員に達し次第、申込みを締め切ります

【申込み・問合せ先】

〒330-9301 さいたま市浦和区高砂3-15-1

埼玉県文化振興課「伝統芸能フェスティバル」係

Tel.048-830-2882 Fax.048-830-4752

E-mail a2875-05@pref.saitama.lg.jp

<http://www.pref.saitama.lg.jp/page/dentogeiino.html>



ACCESS MAP アクセスマップ

彩の国さいたま芸術劇場



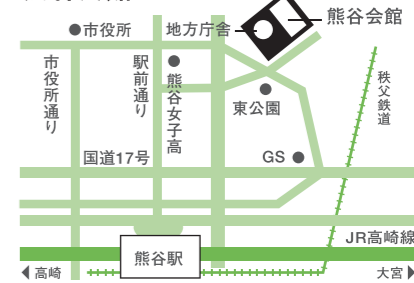
〒338-8506 埼玉県さいたま市中央区上峰3-15-1
電話:048-858-5500(代) ファックス:048-858-5515
電車でのアクセス JR 埼京線と野本町駅(西口)下車 徒歩7分
バスでのアクセス JR 北浦和駅から西武バス大久保行き
「彩の国さいたま芸術劇場入口」下車 徒歩2分

埼玉会館



〒330-8518 埼玉県さいたま市浦和区高砂3-1-4
電話:048-829-2471(代) ファックス:048-829-2477
電車でのアクセス JR 京浜東北線浦和駅(西口)下車 徒歩6分

熊谷会館



〒360-0031 埼玉県熊谷市末広3-9-2
電話:048-523-2535(代) ファックス:048-523-2536
電車でのアクセス JR 高崎線熊谷駅(北口)下車 徒歩15分

※駐車台数に限りがありますので、ご来場の際はなるべく公共交通機関をご利用ください。

■サポーター会員

(財) 埼玉県芸術文化振興財団は、演劇、ダンス、音楽を中心に、この劇場でしか見られない最高の作品を提供できるよう、蛭川幸雄芸術監督のもと、作品づくりに努めています。こうした財団の活動にご理解、ご支援をいただいているのが(財) 埼玉県芸術文化振興財団サポーター会員の皆様方です。

(株) 与野フードセンター / (株) 亀屋 / 武州ガス(株) / (株) 松本商会 / (有) 香山壽夫建築研究所 / 埼玉新聞社 / (株) テレビ埼玉ミュージック / 埼玉りそな銀行
(株) パシフィックアートセンター / (株) アサヒコミュニケーションズ / FM NACK5 / 東京電力(株) 埼玉支店 / 東京ガス(株) / カヤバシステム マシナリー(株) / (株) タムロン
(株) 十万石ふくさや / 森平舞台機構(株) / 日本データコム(株) / 東芝ライテック(株) / 埼玉トヨタ自動車(株) / (有) 齋賀設計工務 / ゲレツツ・ジャパン・スズゼン(株)
武蔵野銀行 / 浦和ロイヤルパインズホテル / (株) アルビーノ / 国際照明(株) / (株) サイサン 会長 川本宜彦 / 三国コカ・コーラボトリング(株) / 埼玉スバル自動車(株)
桶本興業(株) / (株) 佐伯紙工所 / (株) 太陽商工 / (株) しまむら / アイジャパン(株) / (有) 六辻ゴルフセンター / 不動開発(株) / ビストロ やま / 埼玉縣信用金庫
(株) 栗原運輸 / 彩の国SPグループ / (有) ブラネッツ / 関東自動車(株) / (株) クマクラ / (株) デサン / (株) 中島運輸 / セントラル自動車技研(株) / (株) アズマン
丸美屋食品工業(株) / ポラスグループ / ひがし歯科 / (株) 日産サティオ埼玉 / 埼玉トヨペット(株) / 公認会計士 宮原敏夫事務所 / (株) 価値総合研究所 / (株) 埼玉交通
医療法人 顕正会 蓮田病院 / (株) ウイズネット / サイデン化学(株) / アイル・コーポレーション(株) / 五光印刷(株) / 旭ビル管理(株) / ヤマハサウンドシステム(株)
(株) エヌテックサービス / (株) クリーン工房 / (株) つばめタクシー / (株) サンワックス / (株) 総合舞台 / (株) タクトコーポレーション / 広総業(株) / (財) さいたま住宅検査センター
(株) コマーム / 相川 宗一 / (株) 国大セミナー / (株) NEWSエンターテインメント / (株) オーガス / イープラス

H22.12.15現在 / 一部未掲載

【問合せ先】 (財) 埼玉県芸術文化振興財団 営業宣伝課 サポーター会員担当 TEL 048-858-5507

